

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
栄養学実験	杉野 香江	実習	1	栄養士必修	1, 2, 3	1, 2, 3, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>栄養学で学んだ事項について、実験的手法を用いて理解を深め、実験結果を論理的に考察する能力を養うことを目的とする。</p> <p>三大栄養素の消化について各栄養素に対する消化酵素の働きを実験で確認する。食事の違いにより、血糖値や尿中成分が変化することについての理解を深める。各自が自分のエネルギー消費量を理解することで、対象者の必要エネルギーを理解し、個人や集団の食事計画ができる能力を養う。</p>						
到達目標	<p>消化のしくみ、各栄養素の体内における働き、エネルギー消費量の算出方法、栄養管理で用いる栄養評価方法について理解することを到達目標とする。</p>						
回	学習内容						
1	オリエンテーション、実験の基本操作						
2	炭水化物の消化						
3	たんぱく質の消化						
4	脂質の消化						
5	血糖値の測定①（随時血糖値の測定）						
6	血糖値の測定②（糖質中心の食事による血糖値の変化）						
7	血糖値の測定③（脂質中心の食事による血糖値の変化）						
8	過食が肝臓脂質に及ぼす影響						
9	たんぱく質の補足効果（アミノ酸スコアの計算）						
10	食事と尿に関する実験①（尿中尿素の測定）						
11	食事と尿に関する実験②（尿中クレアチニンの測定）						
12	食事と尿に関する実験③（食事記録の解析）						
13	食事と尿に関する実験④（尿中食塩濃度の測定）						
14	活動時エネルギー消費量の算出						
15	総括、器具の管理						
予習内容 復習内容	配布資料を確認し、関連事項について学習する。実験結果をレポートにまとめる。						
教科書	実験資料を配布する。						
成績評価	実験に積極的に取り組む姿勢（40%）とレポート（60%）によって評価する。						
実務経験							
その他 特記事項							